

本調査 回答フォームの内容を以下に掲載しております。
回答は、別途お送りする調査回答フォームURLからご入力ください。

北星学園大学 社会人向け教育研修プログラム推進のための ニーズ調査（社会福祉士向け）

本調査は、社会福祉士の資格を有し、福祉現場でご活躍されている方を対象に、学び直しやスキル向上の機会に関するニーズを把握し、本学のリカレント・リスキリング教育プログラムの設計および内容の充実に役立てることを目的としております。調査結果は、本学の社会人向け教育研修プログラムの設計や内容の改善にのみ活用いたします。また、調査の結果をもとに、さらに具体的なニーズについて追加でお伺いする場合がございます。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本調査へのご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

調査回答にかかる時間の目安：10～15分

調査回答期間：2025年4月7日(月)～4月20日(日)

* 必須

基本情報について

1. お勤め先の施設・事業所の分野 *

兼務の場合は、最も時間を割いている施設・事業所の分野を選択してください。

- ☐ 高齢者
- ☐ 児童福祉
- ☐ 障害者
- ☐ 障害児
- ☐ 保育
- ☐ 医療
- ☐ 精神保健
- ☐ 生活困窮・生活保護
- ☐ 市町村社会福祉協議会
- ☐ その他

2. お勤め先の施設・事業所の形態 *

兼務の場合は、最も時間を割いている施設・事業所の形態を選択してください。

- ☐ 入所
- ☐ 通所
- ☐ 相談系
- ☐ 医療系
- ☐ その他

3. 社会福祉現場における実務経験年数 *

- ☐ 0～5年
- ☐ 6年～10年
- ☐ 11年～15年
- ☐ 16年～20年
- ☐ 21年～30年
- ☐ 31年以上
- ☐ その他

教育研修に関するニーズについて

4. 現在、あなたが直面している課題を、以下から選択してください（複数選択可）。*

- ☐ 福祉制度や法改正への対応の難しさ（最新の法律や福祉制度に対応するための知識が不足している。）
- ☐ 専門的な福祉援助技術の不足（認知症ケアや障がい者支援における新しい技術の習得が進んでいない。）
- ☐ 外国人の労働者や利用者とのコミュニケーションの難しさ（外国人の職員や利用者とのコミュニケーションがスムーズに取れない。）
- ☐ 多様な利用者のニーズへの対応の難しさ（8050世帯、虐待、発達障害、精神疾患、外国籍など、多様な背景を持つ利用者への適切な対応が難しい。）
- ☐ 利用者の権利擁護に関する知識不足（利用者の権利擁護に関する知識が不十分で、適切な対応が難しい。）
- ☐ 職員不足・人材確保（人手不足が深刻であり、職員の負担が増加している。）
- ☐ 若手職員の定着率の低さ（若手職員の早期離職が問題となっており、育成や定着が難しい。）
- ☐ リーダーシップスキルの不足（チームのまとめ役としての役割を果たすことが難しいと感じる。）
- ☐ 組織運営・管理スキルの不足（現場の調整や業務管理を任されることがあるが、適切なマネジメントができていないか不安がある。）
- ☐ ICT技術の導入・活用の不足（デジタル技術やITツールを業務に活用することが難しく、負担を感じている。）
- ☐ 業務の効率化と生産性向上（業務量が多く、効率的に進める方法を見つけるのが難しいと感じる。）
- ☐ メンタルヘルスケアが不十分（精神的負担を感じることがあり、自分のメンタルヘルスのケアが十分できていない。）
- ☐ ワークライフバランスの確保が難しい（時間外勤務が多かったり、感情労働による影響があったりするため、職員が仕事と私生活のバランスを取ることが難しい。）
- ☐ 資格取得やスキル向上が難しい（時間の捻出や機会創出の課題から資格取得やスキル向上が難しい。）
- ☐ 苦情対応の難しさ（利用者やその家族からの苦情に適切に対応することが難しく、トラブル対応への負担が過重になったりカスタマーハラスメントへの対応に苦慮している。）
- ☐ 事故防止のリスクマネジメント（転倒・誤薬・暴力行為など、現場での事故を防ぐための適切な対応が十分にできているか不安がある。）
- ☐ 災害対応の準備不足（現場での地震や火災、感染症の発生時に適切な対応ができるか不安がある。）
- ☐ 職員間の人間関係の課題（職場内のコミュニケーション不足や人間関係のトラブルがあり、職員間の連携がうまく取れない。）
- ☐ その他

5. 4で選択した課題の詳細について、差し支えない範囲で記載してください（「その他」を選択した場合も詳細を記載してください。）。

6. 以下の学習内容について、現在の取り組み状況や関心についてそれぞれ当てはまるものを1つ選択してください。

	現在取り組んでいる	今後取り組んでみたい	今は考えていな
外部のオンライン講座、eラーニング教材の活用	☐	☐	☐
外部機関との連携による研修プログラム	☐	☐	☐
大学等が提供するプログラムへの参加	☐	☐	☐
大学院進学	☐	☐	☐
履修証明プログラム等の受講	☐	☐	☐
海外研修や留学支援プログラムへの参加	☐	☐	☐
資格取得	☐	☐	☐
業務外活動（ボランティア活動、地域貢献活動など）	☐	☐	☐

大学が提供する社会人向け教育研修プログラムへの期待について

7. 福祉に関する教育研修プログラムを大学が提供する場合、どのようなプログラムに期待しますか。
該当するものを以下から選択してください（複数選択可）。*

- ☐ 法律や福祉制度に関すること
- ☐ 障がい者、発達支援に関すること
- ☐ 認知症ケアに関すること
- ☐ 外国人の労働者や利用者とのコミュニケーションに関すること
- ☐ 相談援助スキルやカウンセリング技法に関すること
- ☐ リーダーシップ育成やチームマネジメントに関すること
- ☐ デジタル技術・ITリテラシーの向上に関すること
- ☐ ストレスマネジメントに関すること
- ☐ 精神疾患やメンタルヘルスケアに関すること
- ☐ 福祉と経営のマネジメントに関すること
- ☐ 地域援助技術（地域づくり）に関すること
- ☐ 利用者やその家族との対応（苦情対応など）に関すること
- ☐ 事故防止のリスクマネジメントに関すること
- ☐ 災害への対応に関すること
- ☐ 職員間のコミュニケーションに関すること
- ☐ 資格取得関連（社会福祉士）
- ☐ 資格取得関連（精神保健福祉士）
- ☐ 資格取得関連（こども家庭ソーシャルワーカー）
- ☐ 資格取得関連（スクールソーシャルワーカー）
- ☐ 資格取得関連（その他）
- ☐ その他

8. 7で選択したプログラムに期待することを記載してください。（「その他」を選択した場合も詳細を記載してください。）

9. 大学が提供するプログラムを受講する場合の受講形式について、最も受講しやすいと考えられる手段を以下から選択してください。*

- ☐ 対面（大学での座学）
- ☐ 対面（大学教員による出張講義）
- ☐ オンライン（リアルタイム視聴）
- ☐ オンライン（オンデマンド配信）
- ☐ ハイブリッド（対面＋オンライン参加orオンデマンド配信）
- ☐ その他

10. 大学が提供するプログラムを受講する場合の受講期間について、最も受講しやすいと考えられる期間を以下から選択してください。*

- ☐ 短期集中型（単発）
- ☐ 短期集中型（3日～1週間以内）※連続した日程での受講
- ☐ 短期集中型（1ヶ月以内）※一定の間隔を空けた日程での受講
- ☐ 中長期型（3～6ヶ月）※一定の間隔を空けた日程での受講
- ☐ 長期継続型（6ヶ月以上）※一定の間隔を空けた日程での受講
- ☐ その他

11. 大学が提供するプログラムを受講する場合の受講時期について、最も受講しやすいと考えられる時期を以下から選択してください。*

☐ 4月～6月

☐ 7月～9月

☐ 10月～12月

☐ 1月～3月

☐ その他

12. 大学が提供するプログラムを受講する場合の受講時間について、最も受講しやすいと考えられる時間帯を以下から選択してください。*

☐ 平日昼間

☐ 平日夜間

☐ 週末・祝日

☐ 受講者が希望する時間帯（オンデマンド形式）

☐ その他

その他のご意見・ご要望

13. 本調査に関するご意見やご提案、本学に期待することなどありましたら記載してください。

14. 本調査の結果に基づき、さらに具体的なニーズについてお伺いすることが可能でしょうか。（可能な場合、調査結果に関するご連絡を差し上げることがございます。） *

☐ はい

☐ いいえ

15. 本調査にご回答いただいた方のお名前

16. 連絡先（電話番号）

※調査回答内容に関するご連絡をさせていただく場合がございます。

17. 連絡先（メールアドレス）

※調査回答内容に関するご連絡をさせていただく場合がございます。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。